

新たに8店舗で期間限定展開
11月1日から「ZINE・リトルプレスフェア」開催
～書店発、“つくる文化”の共創拠点をめざして～

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員：松信健太郎）は、ZINEやリトルプレスといった個人発信型の出版文化に焦点を当てた「YURINDO SELECT ZINE・リトルプレスフェア」を、2025年11月1日（土）から12月31日（水）の期間限定で、伊勢佐木町本店・戸塚モディ店・ルミネ横浜店・藤沢店・テラスモール湘南店・たまプラーザテラス店・アトレ川崎店・グランデュオ蒲田店の8店舗で開催いたします。

本企画は、当社が進める「書店の再定義」および「地域文化×個人創作支援」の一環として位置づけられるものであり、次世代に向けた“本のある場所”のあり方を再考する試みです。

YURINDO SELECT

ZINE・リトルプレス

～ZINEって、何？～

ZINEとは、自主制作の出版物のこと。
リトルプレスと呼ばれることもあります。

SNSが気軽に情報発信できる
デジタルツールとして定着しているように
デジタルではない、紙のツールとして
誰でも発信（発刊）できるものが、ZINEです。

誰もが気軽に作って売ることができる新しい形の「本」の中に
あなたの感性にぴったり合う書き手が見つかるかもしれません。

■企画背景：書店が担う「小さな出版」の流通基盤づくり

近年、SNS やデジタルツールの普及により、誰もが自分の思想や創作を自由に発信できる時代となりました。ZINE（ジン）やリトルプレスは、その最前線にある「個人編集」「非商業出版」の表現手段として注目を集めています。

一方で、書店側には以下の課題がありました。

- ・直取引の煩雑さ（発注・決済・在庫管理）
- ・買い切りによる販売リスク
- ・情報の断片化による作品選定の難しさ

そこで当社は、ZINEを既に扱っている店舗（グラングリーン大阪店、キュービックプラザ新横浜店、誠品生活日本橋など）の販売実績とキュレーションノウハウを統合し、各地の店舗でも再現可能な“集中選書型フェア”としてパッケージ化しました。

■企画概要：YURIDO SELECT「ZINE・リトルプレスフェア」

項目	内容
展開期間	2025 年 11 月 1 日(土)～12 月 31 日(木)
展開店舗	伊勢佐木町本店／戸塚モディ店／ルミネ横浜店／藤沢店／テラスモール湘南店／たまプラーザテラス店／アトレ川崎店／グランデュオ蒲田店
展開内容	8 タイトル×各 5 冊（計 40 冊）
運営方式	集中倉庫より選書セットを配布し、店舗負担を軽減したセレクトパッケージ方式を採用。

■既存実績：“ZINE文化”を広げる多店舗ネットワーク

当社は、これまでに以下の店舗で ZINE の展開を開始し、クリエイターと読者の新たな出会いを創出してきました。

- ・有隣堂 グラングリーン大阪店：関西初の ZINE 取扱店舗として、地域発の創作活動をサポート
- ・有隣堂 キュービックプラザ新横浜店：駅商業施設「キュービックプラザ新横浜」内での ZINE 常設棚を展開
- ・誠品生活日本橋（東京・日本橋）：ZINE フェアやワークショップなど、都市型カルチャー発信の拠点

これらの実績をもとに、今回のフェアでは展開店舗を拡張し、有隣堂の文化的ネットワークをさらに広げてまいります。

■選書とストーリーテリング：“ZINEで語る文化の現在地”

選定された 8 タイトルは、公式 YouTube チャンネル「有隣堂しか知らない世界」やすでに導入店舗で実績のあるもの、また仕入担当の思い入れのあるものを 8 点選りすぐり、良質な作品です。

「作り手の想い」「地域とのつながり」「本を介した新しい学び」を軸に、多面的なテーマで構成されています。

< YURINDO SELECT「ZINE・リトルプレスフェア」展開タイトル一覧 >

『ZINEを作って売りきるまでのはなし』 mouikko

初めてZINEを制作し、300部を売り切るまでの過程を具体的に記した実践書。

制作手順から価格設定までが丁寧に解説され、カラフルなランダムペーパーと

リソグラフ印刷のデザインも魅力

価格：2,200円（税込）



『又吉直樹マガジン 椅子』 吉本興業

“椅子を偏愛する”又吉直樹が編集長として企画・編集。綾部祐二、吉岡里帆、

柄本明、壇蜜らが登場し、椅子をめぐるグラビアやエッセイを収録した文化人マガジン

価格：1,018円（税込）



『崎陽軒シウマイ弁当 70年の軌跡』 食べ方学会

横浜名物「崎陽軒シウマイ弁当」70周年を記念し、弁当の構成の変遷とその背景を貴重な資料から紐解く。ファン必携の文化資料的ZINE。
価格：1,573円（税込）



『自分でやってみる人のための校正のたね』 サワラギ校正部

一人で本をつくる人のための“校正入門ZINE”。18項目に分けて基礎と実践を解説し、作品をより良く届けるための小さくとも頼れるハンドブック。
価格：880円（税込）



『おてあげ 第1号』 困ってる人文編集者の会（こまへん）

編集者・書店員・デザイナーなど6名が「本づくりの現場の困りごと」を語る創刊号。鼎談や日記も収録し、“困っているすべての人”に寄り添う内容。
価格：1,100円（税込）



『食べ方図説－崎陽軒シウマイ弁当編』 食べ方学会

シウマイ弁当の食べ方をめぐる哲学的偏愛本。弁当の向きや食べる順番、小梅のタイミングに至るまでを探求し、熱意が高じて崎陽軒社長も登場。
価格：785円（税込）



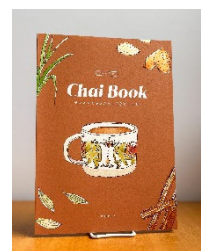
『わたしの好きなふつうの本屋が閉店』 アトリエ風戸／平城さやか

自身が働いていた書店の閉店をきっかけに綴られたエッセイ。特別な場所を失う喪失感と、そこに流れていた時間への想いを温かなイラストとともに描く。
価格：999円（税込）



『Chai Book』 町田めぐみ

“チャイをたのしむ”ための27のレシピを収録。スパイスやハーブの選び方からブレンドの工夫まで、読むだけで心がほぐれるライフスタイルZINE。
価格：1,980円（税込）



■株式会社有隣堂について

創業115年の神奈川、東京、千葉、兵庫、大阪に44店舗を展開する書店。複合型店舗では、カフェや居酒屋、アパレルショップなどの運営も行っています。また、楽器・音楽教室、図書館・地区センターの運営受託、ビジネスソリューションサービスおよびOA機器の販売、出版事業など、多様な事業展開を通して地域社会に貢献しています。

HP : <https://www.yurindo.co.jp/>